

第23回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会要項

【1】名称 第23回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会
ーITA杯無差別級王者日本一決定戦ー

【2】主催 日本テコンドー協会（JTA） 会長 河明生

【3】後援 東京都 E Fight（旧GBR）

【4】目的

- 1, 日本におけるフルコンタクト・テコンドーの普及・発展を通じて、日本国民、在留外国人の健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。とりわけ健全なる青年および青少年育成に貢献する。
- 2, 日本で一番強いテコンドー家＝無差別級王者をフルコンタクト・テコンドー・ルールで決定する。
- 3, 体系化された蹴りの武道を表徴する蹴武の型のチャンピオンを決定する。
- 4, 本試合とその練習過程を通じ、フルコンタクト系武道界における相対的な競技力向上をはかる。
「フルコンタクト系空手に勝とも劣らないフルコンタクト・テコンドー」を目指す。

【5】開催日時

2012（平成24）年11月23日（金） 17:00開演

【6】開催場所

後楽園ホール

東京都文京区後楽1-3東京ドーム・シティー内 TEL（03）3817-6092

【7】出場資格と全日本大会選抜者基準

- 1, エントリー種目の制限
個人戦・団体戦あわせて2種目まで出場を認める。
- 2, 出場資格
 - ①男子無差別級組手は、全日本大会選抜者基準を満たした18歳以上のJTA有段者
 - ②女子無差別級組手は、全日本大会選抜者基準を満たした高校生以上のJTA有段者
 - ③蹴武の型（男女混合）は、全日本大会選抜者基準を満たしたJTA有段者。年齢制限無し。
 - ④少年少女部蹴武の型は、都道府県大会で優勝し選抜された小学生以上、中学生以下のJTA有段者。
 - ⑤蹴武型団体戦は、JTA団体戦に出場し、選抜されたJTA加盟のクラブ・都道府県連連合チーム
ただし、茶帯の参加は2名まで認める。
- 3, 個人戦選抜者の基準
 - ① 優先出場順位第1位
前年度全日本FT選手権大会の入賞者
男子組手1位～4位、女子組手1位～2位、蹴武型1位～4位、少年少女部蹴武型1位

② 優先出場順位第2位

本年度全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場選手選考会（以下、「予選会」と称す）の関東大会、神奈川大会、中国大会、四国大会、中部大会、九州大会、東京大会、関西大会、全日本学生大会の一部組手および一部蹴武の型試合の優勝者

③ 優先出場順位第3位（推薦出場・選抜者）

イ、都道府県初のJ T A加盟クラブを創設した「J T A都道府県パイオニア」に対する推薦。
但し、「予選会」に出場していなければならない。
本推薦は全日本F T大会出場経験を指導に生かし、当該クラブの活性化をはかることを目的とする。

ロ、全日本F T大会出場権を有する者が「予選会」で優勝した際と同階級における入賞した選手。

④ 優先出場順位第4位（推薦出場・準選抜者）

イ、J T A加盟・都道府県連の役員・実行委員に対する推薦。
都道府県におけるフルコンタクトテコンドー普及のパイオニアではないが、新規もしきは既存のJ T Aクラブの長・責任者・監督・コーチ・主将その他幹部となり、その職務を全うした者。但し、「予選会」に出場していなければならない。

ロ、社会人、大学生・専門学校生推薦
最終予選会である関西大会の組手一部または蹴武型一部に出場した者で
所属クラブの運営上、指導補助や運営等での活躍を期待できる者。
所属体育会・同好会の運営において尽力努力した者または次年度に活躍を期待できる者。

ハ、全日本F T大会出場権を有する者が出場を辞退した場合、一定水準に達していると認められる当該指導者を推薦出場させる場合がある。但し、「予選会」に出場していなければならない。

【8】試合種目・表彰

一、無差別級フルコンタクト・テコンドー組手試合

1、男子組手試合

- 優勝 トロフィー、大金メダル、大賞状
- 準優勝 トロフィー、大金メダル、大賞状
- 3位 大銅メダル、大賞状
- 4位 銅メダル（J T Aオリジナル）、大賞状

2、女子組手試合

- 優勝 トロフィー、大金メダル、大賞状
- 準優勝 大銀メダル、大賞状
- 3位 銅メダル（J T Aオリジナル）、大賞状
- <注意 女子部は参加人数の変動により、2位を表彰しない場合もある>

二、蹴武の型試合（男女混合試合）

1、一般部型

- 優勝 トロフィー、大金メダル、大賞状
- 準優勝 大銀メダル、大賞状
- 3位 大銅メダル、大賞状
- 4位 銅メダル（J T Aオリジナル）、大賞状

2、少年少女部型

優勝 金メダル（J T Aオリジナル）、大賞状

三、蹴武の型団体戦

優勝 楯、金メダル（J T Aオリジナル3名分）、大賞状

準優勝 楯、銀メダル（J T Aオリジナル3名分）、大賞状

3位 楯、銅メダル（J T Aオリジナル3名分）、大賞状

四、最優秀選手賞

1名

1、I T A杯

特注大カップに歴代男女優勝選手の氏名を刻印する。
次回大会まで優勝選手が保管し、次大会開会式で返却する。

2、東京都知事賞賞状

五、E F i g h t（旧G B R）賞・楯

出場選出中、最も良いファイトをした選手（一本勝ち等）をE F i g h t社が表彰する。

六、第24回全日本F T大会シード権

男子組手「ベスト4」、女子組手「ベスト2」、蹴武の型「ベスト4」、少年少女部蹴武型1位入賞者に
2013年11月30日（土曜日）午後5時 後楽園ホール開催、
第24回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会の出場権を与える。

七、蹴美新人賞

大賞状 1枚

全日本大会初出場選手の中、最も優れた新人選手1名を表彰する。但し、該当者がいない場合もある。

【9】試合ルール

一、男女無差別級組手試合

1、J T Aフルコンタクト・テコンドー・ルール

（技有り・一本勝ち、蹴美7will、勝者負傷の場合限定の敗者復活戦、最高審判長審議等）

2、試合時間

①1～3回戦 本戦2分1R。 延長戦2分（1R迄）

②準決勝戦 本戦2分1R。 延長戦2分（2R迄）

③3位決定戦 本戦2分1R。 延長戦2分（1R迄）

④決勝戦 本戦2分1R。 延長戦2分（3R以内）

⑤その他 本戦終了後、延長戦開始までの休憩は1分とする。

3、防具の着用、コンタクト・レンズの禁止など

①ヘッドギア（青もしくは赤）

女子選手は、面付き防具を必ず着用しなければならない。

- 男子選手は、選手の希望によりはずすことができる。申請書に明記すること。
- ② 手・足のテコンドー防具（青もしくは赤）を着用しなければならない。
写真撮影上、防具が壊れていたり、テープで補強（とくに色違いのテープ）してはならない。
 - ③ 安全上マウスピースを着用しなければならない。
 - ④ 男子は、ファールカップを必ず着用（道衣の中）しなければならない。
 - ⑤ 手のバンテージや蹴り・突きの威力を増すための防具の着用は禁止する。発覚次第、失格。
 - ⑥ 上記以外の防具（スネ・膝・肘などのサポーター）の着用やテーピングなどは、
事前に大会主催者に届け出、医務関係者の許可・検印を受けなければならない。
 - ⑦ 試合で着用した防具、テーピング、包帯などは、体重判定の際、外すことはできない。
 - ⑧ 試合中、コンタクト・レンズがはずれても中断しない。万一、中断した場合、減点2とする。
 - ⑨ その他は、必要に応じて主催者が定め選手に通知する。

4. 組手審判

- ① 主審1名、副審2名、蹴美審判1名の4名とする。
- ② 最高審判長は、上記審判の判定に対し、最高審判長審議を請求できる。
- ③ 準決勝戦および決勝戦に直属の弟子（独立した者は除く）が進出した場合、該当審判は交代する。

二、蹴武の型（個人戦）

1. 蹴武型ブロック毎の決勝戦進出者

- ① 選手は、Aブロック、Bブロック、Cブロック、Dブロックの4ブロック毎にトーナメント戦を行う。
- ② マット上で、対戦者2名が、清衡、義家、柳韓、忠武、若光の中、自由選択した蹴武の型を演武する。
旗上げによって勝敗を決し、ブロック毎の勝者1名を決定する。

2. 蹴武型の決勝戦

ブロック勝者4名は決勝戦を行う。1名づつリング上で指定型・乙支を演武し、順位を決定する。

3. 蹴武型審判

- ① 3名とする。
- ② 最高審判長は、上記審判の判定に対し、最高審判長審議を請求できる。

三、少年少女部蹴武の型試合

1. 予選

1名づつあらかじめ申請書に届け出た自由型Aを演武し、上位2名を決勝戦進出者とする。

2. 決勝

上位2名は、あらかじめ申請書に届け出た予選とは別の自由型Bを同時に演武し、優勝者を決定する。

3. 審判については上記「二の3」に準ずる。

四、蹴武の型（団体戦）

1. 蹴武型団体戦の決勝戦進出団体

- ① 団体戦の選手は3名（男女混合可）とする。
- ② 1チームづつ、あらかじめ申請書に届け出た自由型Aを演武し、上位3チームを選抜する。

2, 蹴武型団体戦の決勝戦

上位3チームは1チームづつあらかじめ申請書に届け出た予選とは別の自由型Bを演武し勝敗を決する。

3, 蹴武型審判

個人戦に準じる。

五、セコンド

①セコンドは、JTA現役会員に限る。休会中の者は不可。

②組手は3名以内、型は1名とする。

③禁止事項

私服は禁じる。セコンドにふさわしい服装を義務づける。元会員やOBは不可。

【10】ドーピング検査

1、選抜された選手は、ドーピング検査に協力し、拒否することはできない。

ドーピング検査に協力しない場合、その時点で失格とし、予備出場枠選手を出場させる。

2、万一、試合終了後のドーピング検査により、陽性反応が出た場合、全試合を失格とする。

その場合、順位を繰り上げる。それによって生じた順位の調整は主催者が定める。

3、万一、ドーピング検査陽性反応が出た場合、氏名と所属を公表し、今後の大会に出場させない。

それがJTA所属選手の場合、除名し、永久追放とする。

【11】大会出場申込書類・申し込み締め切り

1, 必要書類等

- | | |
|--|----|
| 1) <u>大会出場申込書 (含む誓約書・ドーピング検査許諾書)</u> | 1通 |
| 2) <u>セコンド登録およびコメント確認書</u> | 1通 |
| 3) <u>正装写真 (5cm*5cm、裏に氏名明記。3ヶ月以内撮影、画質の良いデジカメ写真可) 1枚</u>
写真の裏に氏名を明記。明記していない場合はパンフレットに掲載しません。 | |
| 4) <u>簡易健康証明書</u> | 1通 |
| (様式随意。コピー可。学校、企業、官公庁などでの健康診断の結果を記載したものでも可) | |
| 5) 参加費用振り込み控え (コピー可) | |
| 2、参加費用 (組手と型の2種目参加も参加費用は同じです) | |

青年部選手 ￥15、000

少年少女部選手 ￥8、000

振込手数料は申込者負担。

3, 参加費振込先 (振込手数料は申込者負担)

[ゆうちょ銀行・旧郵便振替口座]

00160-6-185058

[名 義] 日本テコンドー協会

注意 自己名義のゆうちょ銀行のATMまたはゆうちょインターネットバンキングから振り込めば手数料は無料です。振り込み証明書(コピー可)を申請書に添付し郵送して下さい。

4, 申し込み締め切り

2012(平成24)年10月22日迄(消印有効)

上記期限迄、申請書が到着しない場合、出場辞退となります。

パンフレット作成のため必ず期限を厳守してください。正当な事由があったとしてもパンフレットに掲載されません。

3, 上記、書類一式郵送先

〒144-0045

東京都大田区南六郷3-18-1-1301

日本テコンドー協会 御中

注意 持参受け取りは一切行いません。

受け取りサインを必要とする書留や各種運送会社による送付は行わないで下さい。

日本の郵便制度は優れており、届かなかったことはありませんので普通郵便で送付して下さい。速達料金を節約すべく余裕をもって郵便局へ赴き料金不足が生じないよう注意して下さい。

4, 問い合わせ

全日本F T大会実行委員長 盛島一盛

携帯090-2218-9443 メールkm@jita.jp

【13】注意事項

- 1, 理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- 2, 試合参加申請書および参加費用振込用紙には、必ず所属クラブ名を明示して下さい。
- 3, 選手は必ず各種保険証の現物を持参して下さい。
- 4, 後樂園ホールには、ペットボトルや缶の飲み物を持ち込まないで下さい。
- 5, ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。大会主催者と後樂園ホールは一切責任を負いません。
- 6, 全日本大会のテレビなどの放映権、書籍、雑誌、ビデオなどの著作権や肖像権などの諸権利はすべてJ T Aに帰属します。
- 7, ビデオ撮影は原則的に禁止です。

【14】観覧(有料)全席自由席

一般 当日3000円

(前売り2500円、J T Aクラブ、チケットびあ、セブンイレブン、後樂園ホールにて販売)

小学生・中学生 当日1500円(前売り 1000円、販売先同上)

未収学者 無料

チケット問い合わせ先 (株) I T A 03-3730-6929 担当 河田スミレ

第23回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権 大会参加申込書・誓約書・ドーピング検査許諾書

大会会長 河 明生殿

私は、下記の事項を誓約し、許諾し、全日本大会への出場を申し込みます。

- 1、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。
- 2、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、手による顔面強打は、絶対行いません。
万一、自己の手による顔面強打により、相手方が負傷し、その治療費が保険金で賄えない場合
(たとえば、歯の骨折など) 治療費の実費を相手方に弁償します。
- 3、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。
万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた
場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。
- 4、私は、「フルコンタクト・テコンドーは、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、
自らの意志により本大会への参加を希望します。
それゆえ試合において如何なる事故が生じても、自己の責任として処理し、
本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓約します。
- 5、試合により「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。
民事訴訟などにより、大会主催者およびその関係者に対して民事上の責任を問いません。
死亡・後遺障害(失明等) 組手選手5千万円、型選手1千万円、入院1日6千円、通院1日4千円
- 6、私は、所属クラブを通じて「スポーツ安全協会スポーツ安全保険」に加入しています。
- 7、尿や血液採取など如何なるドーピング検査にも全面的に協力し、異議を申し立てません。
陽性反応が出た場合、氏名・所属団体の公表など定められた罰則に従います。
- 8、選抜された場合、かならず貴大会に出場します。正当な理由無く欠場した場合、反則金10万円を
支払います。
- 9、本全日本大会のテレビなどの放映権、試合を記録した文章や写真などを利用した書籍、雑誌、
ビデオなどの著作権や肖像権などの諸権利は、すべてJTAに帰属することに同意し、誓約します。
一本負け等のシーンをGBR等をDVDやインターネット等を通じて公に配信することに同意し、
繰り返し放映させることに対し、配信停止要求や精神的慰謝料等を請求しないことを誓約します。
上記の一つでも違背した場合、大会主催者の定めた規程および罰則を遵守し、異議を申し立てません。

年 月 日

申請者 住所

(ふりがな)

氏名 印 現段 段

電話 緊急事故時の電話

生年月日(西暦) 年 月 日生(歳)

身長 Cm、 体重 Kg 血液型 型 *必ず記入

所属 組手・得意蹴技 型・得意型

出身地 都・道・府・県・外国 市・町 出身

過去の全日本大会、本年度予選会等成績

- 1
- 2

出場種目 (○印) 組手 男子無差別級組手(ヘッドギア着用を→ 希望する / 希望しない)

女子無差別級組手

蹴武型 一般男女混合型

蹴武型団体戦 少年少女部型 (予選自由型A 決勝自由型B) *変更不可

チーム (予選自由型A 決勝自由型B) *変更不可

第23回全日本F T大会セコンド登録参加申込書

申請選手

印

所属

1, 私は、下記の会員をセコンドとして登録します。

<注意 セコンドは現役会員のみ。OBは不可。有料チケット必要>

メインセコンド氏名 所属 段・級

サブセコンド氏名 所属 段・級

サブセコンド氏名 所属 段・級

2, 全日本フルコンタクトセコンド一選手権大会 選抜者コメント&入賞者コメントおよび道衣写真

J T A本部HP上には全員、G B Rには一部の選手を掲載するので

hp@jita.jp

迄メールで速やかに送信して下さい（下記、○または期日を書き込み）

1) 大会前 抱負・思い・決意等の文章（10月22日迄。厳守）

①送信しました

②10月 日迄送信します

2) 大会後 入賞者の感想（11月25日迄。厳守）

①了解しました

3) J T A黒帯道衣着用デジタルカメラ写真（10月22日迄。厳守）

組手出場選手の写真1ポーズ ファイティングポーズ、蹴り、平行立ち+臥龍の構え

型出場選手の写真1ポーズ 半後屈立ち+七龍の構え、蹴り、平行立ち+臥龍の構え

①送信しました

②10月 日迄送信します